

ったときに、「あっ、なんかファドみたい！」って思うんですけど(笑)。

濱田 でも、お声の質が本当にファドらしいですね。音域が低めの声でいらっしゃるから。やっぱりファドは、そのほうがいいんじゃないかなあ。アマリアなんかは、思いのほか高い声出ましたけどね。

月田 高いんだけど、高く思わせないんですね。

濱田 フラメンコの人もそうなんです。実際には高い音域で歌ってるんですよ。それが高く聴こえないというのが不思議でしょうがない。

月田 あれは何なんでしょうね? 響かせ方でしょうか。アマリアさんの、顎を上げる歌い方が、私はすごく好きでしたね。天に問いかける感じで。ファドは、“生の声”がいちばん魅力的だと思うんです。これ言うと墓穴掘っちゃうんですけど(笑)、生で歌う、生で聴ける、等身大で聴ける……というのが、ファドの魅力なんです。だから私も、原点というのか、小さなところでのライブ活動も無視したくないんです。

濱田 ご自分でポルトガル・ギターは弾かれないですか。

月田 テンションがとても高いし、手が痛くなっちゃって。先日初めて、ヴィオラ(ギター)をしょって、行脚みたいなことを(笑)してきたんですけど。

濱田 弾き語りもなさるんですか!

月田 “ボロン”、か“ブンチャ・ブンチャ”だけです(笑)。

濱田 ポルトガル・ギターそのものも、もうちょっと普及してくれるといいんですけどね。

月田 そうですね、今度カルロスを呼んだときにでも、ワークショップができれば、と思ってるんですけど。

濱田 いいですねえ! 演奏もちょっとやっただされば、聴きにくると思うなあ。ファド・ファンって、そんなに少なくはないと思いますよ。月田さんのファンクラブというか、『ファド倶楽部』には、かなりの数の方がいらっしゃいますでしょう?

月田 まあ、今のところ500人ぐらい……ただ、情報が行き渡らない、という感じはあります。もう少し自分の声が届けばいいんですけど、周りにいる人にぐらいしか発信できないですね。

濱田 『ファド倶楽部』の会報は、毎号送っていただきますよね。

月田 読んでくださってるんですか、ありがとうございます。本当は1通ずつ宛名も書きたいし、一筆書きたいし、と思いつつ、ダイレクト・メールのラベル貼ってます。でも私の自己主張は、料金別納じゃなくて、記念切手を1枚ずつ貼ってます(笑)、ということなんです。

濱田 ご無沙汰していても歌ってらっしゃるご様子がわかって、とてもありがたかったです。やっぱり、唯一無二の存在でいらっしゃるから。

月田 私は非常に不器用な歌い手で、1曲覚えるのにすご



く時間がかかる人間なんです。今レパートリーが100曲近くありますが、覚えたからってすぐ歌ってもファドにはならない。何年もずっと歌い続けていかないと、あのズレが出てこないんですね(笑)。

濱田 これからズレていただいて(笑)。ギタリストもほしいし、聴き手も養成しないといけないですね。私どもも、いい意味での啓蒙というか、ファドってこういうものなんだよ、ということをもっともっていろいろなところで言わないといけないと思いますね。

月田 私も、歌い続けますので。

濱田 はい! ご無沙汰ばかりしてて悪いファンですけども、今後ともよろしくお願いします。

CD INFORMATION



FADO NOCTURNO (夜のファド) 2005

オフィス・クレセント
HT-2005

たそがれにこそ (SO A NOITINHA)、蜜の恋、苦い恋 (AMOR DE MEL, AMOR DE FEL)、我が心のリシュボア (MINHA LISBOA DE MIM) など16曲を収録。月田秀子ホームページから注文できる。

<http://www.fado.jp/>
TEL&FAX : 03-3458-9806
email: cdonline@fado.jp

月田秀子2006コンサート

コンサート "FANTASIA DE AMALIA "

with カルロス・ゴンサルヴェス

10月29日(日) 静岡・島田 宮美殿

11月1日(水) 新潟・だいしホール

11月3日(金・祝) 大阪・中ノ島・大阪市中央公会堂

11月4日(土) 東京・新橋ヤクルトホール

11月7日(火) 鹿児島・みなみホール

11月9日(木) 名古屋・愛知芸術劇場

(問) 03-3458-9806 (月田秀子ファド倶楽部)